



TITLE:

京大広報 号外

AUTHOR(S):

京都大学渉外部広報・社会連携推進室

CITATION:

京都大学渉外部広報・社会連携推進室. 京大広報 号外. 京大広報 2014, 1404s: 4121-4128

ISSUE DATE:

2014-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196374>

RIGHT:



京大広報

号外

2014.4

目次

〈卒業式・大学院学位授与式〉

卒業式における総長のことば……………4122

大学院学位授与式における総長のことば……4124

〈大学の動き〉

平成25年度卒業式……………4127

平成25年度大学院学位授与式……………4128



平成25年度 卒業式

京都大学渉外部広報・社会連携推進室

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

卒業式・大学院学位授与式

卒業式における総長のことば

平成26年3月25日

総長 松 本 紘

本日、ご来賓の沢田敏男元総長、名誉教授、列席の理事、副学長、学部長、部局長をはじめとする教職員一同とともに、2,831名の皆さんに学士の学位を授与する運びとなりました。学士課程を無事修了され、学位を得られたことに深く敬意を表するとともに、篤くお慶びを申し上げます。併せて、今日の卒業式を迎えるまでご家族ならびに関係者の皆様よりいただいた数々の厚いご支援に対し、大学として御礼申し上げます。117年にわたる京都大学の歴史において、皆さんを含めた本学の卒業生の累計は196,900名となりました。

さて、皆さんが入学された時にはひとりひとりが夢を抱いていたことと思います。その夢は人によって、大願成就を目指す極めて野心的なものから、具体的現実的なものまで様々であったかと思います。それを胸に本学の門をくぐり1年、2年と経つにつれ、やがてその夢が段々と霞んだり、変形してきたこともあったでしょう。そしてそれぞれの夢は、新たな装いをまったり、新しく生まれたりして、入学時とは大きく変わっていることでしょう。私は皆さんの夢の変容に対して、苦言を呈するつもりはありません。むしろそれこそが皆さんの成長そのものであり、その成長を大いに言祝ぐものです。それと



同時に、入学時の皆さんの夢というものをここでもう一度思い返して、己を見直し、自分自身で今の夢に向けて commence, すなわち始動する日が、今日の卒業式 commencementであるということを心してほしいと思います。

皆さんは京都大学において一定の学業を修められ、今日の卒業式に臨んでいます。

高浜虚子に

「一を知って 二を知らぬなり 卒業す」

という俳句があります。皆さんには「一を知りて二を知らず」ということを脱し、さらに無知の知に目覚め、これからも止むことなく学び続けてほしいと思います。多彩なジャンルの本を読み、自分の専門分野のみならず、広い分野の知識を貪欲に吸収するように心がけてください。

現在、我々はインターネットに容易にアクセスできる環境にどっぷりつかっています。そこでは単純な問題については、答え探しに、大きな努力も必要とせず、検索という形で容易にできます。言い換えると我々は安易な答え探しが可能な世の中に生きているといえます。一方、答え探しが容易にできない問題に直面する場合も多々あります。さてどうすればいいのでしょうか。本当に我々を悩ます問いは本来そのようなものです。その時には私たちは自分の頭で考えるしかありません。考えるとは一体どういうことでしょうか。私は、考えるということは、様々な事柄の可能性や繋がりを新たに組み直し、自分の頭の中で整理するというのではないかと思います。すなわち、問題を前に、頭の中にこれまで蓄積してきた知識や経験を組み替えることこそが、考えることの本質ではないかと思います。このプロセスは一種パラレルな処理です。一方、インターネットから入手できる情報は、順に発見できるシリアルなものです。この違いが、いくらインターネットに向かっても、考えていることにならない最大の理由ではないでしょうか。インターネットのようにシリ

アルに一つずつ情報が出てき、それが片付いたら、次、そして次という形式は物事を調べる時には非常に役立ちます。ある特定の事柄についての知識を得たいときにはとりわけそうです。一つずつ知識を積み上げていくということはそれ自身大変重要ですが、何か全く新しいことを考えようとする、本来ばらばらに分類されていた異なる分野の知識を組み合わせるパラレルな処理が必要で、脳の中ではそのパラレル処理が、ニューロンとニューロンの繋がりという形で行われています。それゆえ、色々なことを体験し、経験し、知識を蓄え、それを柔軟に組み合わせ、組み替え、新しいものを創造する訓練を積む必要があるわけです。

本日の卒業式で一つの区切りをつけ、新しい夢を胸にスタートラインに立つ皆さんを、京都大学はこれからも応援していきます。卒業する皆さんには、ときには母校を訪ね、また同窓会活動の場として、また生涯の学習の場として、京都大学を人生の基軸としてこれからも積極的に活用していただけるように願っています。

卒業して、社会で活躍される皆さんには、機会を与えられた様々な場所で、本学で身につけた自学自習の精神を活かし、活躍されることと思いますが、一方で母校である京都大学で教育を受け、探究を続ける友人の応援もぜひお願いします。また、修士課程に進学され、大学院で研究を続ける人も多いと思いますが、京都大学は、優秀な人材を活かし、グローバルに評価される大学でありつづけるように、必要となる環境改善に尽力してまいりますので、一心不乱に研究に打ち込んでくださるようお願いします。

最後に、今後も絶えず自らを省みて、学業を積み、身体を鍛え、こころを磨き、人の痛みや社会の問題を敏感に感じとり、闊達な対話を大切にし、ご活躍されることを願います。学士の学位を授与された皆さんへの私の^{はなむけ}餞として、自らを十分に鍛え、自ら責任を持って、自身の中にあるものに頼るという「^{たんじじ}自鍛自恃」という言葉を贈ります。

本日は誠にありがとうございます。



大学院学位授与式における総長のことば

平成26年3月24日

総長 松 本 紘

本日、京都大学から修士の学位を授与される2,169名の皆さん、修士(専門職)の学位を授与される157名の皆さん、法務博士(専門職)の学位を授与される150名の皆さん、博士の学位を授与される551名の皆さん、誠におめでとうございます。

学位を授与される皆さんの中には、706名の女性と320名の留学生が含まれています。累計すると、京都大学が授与した修士号は69,988、修士号(専門職)は1,073、法務博士号(専門職)は1,572、博士号は40,915となります。ご来賓の沢田敏男元総長、名誉教授、列席の副学長、研究科長、学館長、学舎長、教育部長、研究所長をはじめとする教職員一同とともに、皆さんの学位取得を心よりお祝い申し上げます。

この会場には、学位を授与される皆さんのご家族、ご友人、関係者の皆様が多数お集まりのことと思います。学位を授かる皆さんは、これらの方々からの長年にわたる支援に対して感謝の気持ちを、きまりが悪いなどと思わず、素直に表してください。私たち教職員一同も、ここに至るまでの皆様方の様々なご苦労やご支援に対して御礼を申し上げ、今日の喜びを分かち合わせていただきたいと思います。

さて、皆さんは幾多の困難を乗り越え、大学院において専門を修め、その専門において自樹自立できる力を本日、京都大学学位の授与という形で認められました。これからは何ものにも臆することなく、授けられた学位を誇りとし、身につけた専門を生かして、我が国や人類が直面する多岐にまたがる複雑な問題に果敢に挑戦し、社会のリーダーとしてさらなる飛躍を遂げてください。

さて約8年前の2006年7月のことになりますが、





元国際電波科学連合会長として、私は専門の電気工学の天才ニコラ・テスラの生誕150年を祝う式典に招待され、クロアチアを訪問する機会を得ました。トーマス・エジソンは蓄音機や白熱電球や映画などの発明で知られていますが、そのエジソンとテスラは同時代に活躍しました。テスラは、電気の魔術師ともてはやされながら、その後忘れ去られたセルビア人です。近年テスラの復権が進み、磁場の国際単位として、大数学者ガウスに代わり、その名が採用されています。交流電力システムは現代社会で当たり前で必須のものとなっている重要な社会基盤ですが、その交流電力システムはテスラの発明によるものであり、情報化社会の基盤である無線通信の発明もテスラに帰されます。テスラと発明王エジソンは互いに同時代を生きた発明家として、交流対直流という電力戦争を繰り広げましたが、1915年には、テスラとエジソンはノーベル物理学賞同時受賞とのニューヨークタイムズ紙の事前報道で世間を驚かせました。しかし、結局両者とも受賞には至らず、数々の両者をめぐる人間臭い風聞が生まれました。

そのエジソンによるものとして、「天才は1%のインスピレーションと99%の努力である」という言葉が人口に膾炙かいしやしています。これに対して、エジソンの会社で働いていたテスラは、「エジソンが干草の山から針を一本見つけようとする、やおら麦藁を一本一本丹念に調べはじめ、探しているものが見つかるまでミツバチのような勤勉さで働き続ける。

私ならほんのわずかな理論と計算とでエジソンの労力の90%が節約できるので、そのような行動を気の毒に思いながら見ていた」ともいっています。皆さんはこれを聞いてどう思われるでしょうか。

テスラはエジソンに一種の不満を持っていたのだと思います。エジソンはまさに「必要は発明の母」を地で行く実務家であり、世の求めを先取りし、ふつふつと湧き上がるアイデアを既存の技術に注ぎ込み、発明品として仕立て上げるアイディAMANでした。一方、テスラは豊かな構想力をもとに、学術的にしっかりとした一からの積み上げで、体系的に思考し、将来展開できるような基礎を発明として世に問いました。エジソンのように既存の技術の工夫や組み合わせによって目の前にあるニーズを矢継ぎ早に満たしていくことも重要ではありますが、長い目でみると基礎を持たないアドホックなやり方は先細りしてしまうおそれが高いともいえます。

日本においては、近年イノベーション待望論が騒がしいくらいですが、イノベーションというのは本来テスラのように強固な基礎を築いてこそ、将来の大きな展開が可能となるものです。テスラは交流電力システムや無線通信にとどまらず、後にコンピューターやミサイルやロボットに繋がる発案も行いました。これこそが日本が目指すべきイノベーションの姿であり、学術に基づくイノベーションの実現に日々取り組むのが研究であるということを皆さんにも心していただきたいと思います。さらに、



責任をもって研究を進めるという大学の果たす重要な役割について社会にもぜひ正しく理解してほしいと願っています。

さて、今日お集まりの皆さんは、学校と名のつくところには3か月しか通わなかったとされるエジソンとは異なり、テスラと同じように高等教育を修め、胸を張って基本は大丈夫といえるでしょう。しかし、確かに皆さんが学業を修めた専門分野に関連する部分においてはそうかもしれませんが、これから社会においては、予想もできない様々な問題に皆さんは直面することになります。そこではエジソンとテスラのどちらのアプローチが正しいかはわかりません。場合によってはその両方を同時に行う必要があるのかもしれません。いずれにせよ、次のように考えていいと思います。学位取得の道程で、高度な専門知識を修め、その分野の最先端までたどりつき、新しいものを切り拓いたプロセスとそれを実現させた志と力量があれば、新たな領域においてもその経験が自信と指針となって道は拓けるのです。これが研究によって己を磨く高等教育の力であらうかと思えます。

さて、皆さんのこれから歩む人生において一層の知識や経験が必要となる時がやってくるかもしれません。その際には、皆さんが学んだこの京都大学を思い出し、基本に立ち戻って下さい。また、折に触れ母校を訪ねてください。皆さんと京都大学との縁は、同窓会や生涯の学びを通じて切れることなく続きます。京都大学は皆さん一人一人の人生の基軸になりたいと思います。京都大学は、時流に流されず、常に物事の根源を見つめ、根源を解き明かそうとする大学、基本すなわち本を務める大学として輝き続けていきたいと思います。皆さんにおいても、母校を温かく見守り、ご支援いただきますようお願いいたします。

本日学位を手に入れました3,027名の皆さんが世界のリーダーとして道を拓いていかれることを願って、私の^{はなむけ}饒の言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



大学の動き

平成25年度卒業式

3月25日(火)午前10時から京都市勤業館みやこめっせにおいて、沢田敏男元総長，名誉教授をはじめ各副学長，各部局長等の出席のもとに平成25年度卒業式が挙行された。学歌斉唱に引き続き，松本 紘総長が各学部代表に学位記を授与した。

続いて総長の式辞があり，最後に全員で「蛍の光」を合唱して，午前10時35分に終了した。

新学士の人数および内訳は右のとおりである。

学士

学位名	学位授与者数
学士(総合人間学)	128
学士(文学)	219
学士(教育学)	63
学士(法学)	303
学士(経済学)	291
学士(理学)	279
学士(医学)	110
学士(人間健康科学)	133
学士(薬学)	28
学士(薬科学)	45
学士(工学)	920
学士(農学)	312
合 計	2,831



(学務部)

平成25年度大学院学位授与式

3月24日(月)午後2時から京都市勧業館みやこめっせにおいて、沢田敏男元総長、名誉教授をはじめ各副学長、各部局長等の出席のもとに平成25年度大学院学位授与式が挙行された。

松本 紘総長が修士、修士(専門職)、法務博士(専

門職)、課程博士、論文博士の学位名に付記する各専攻分野の代表者に学位記を授与した。その後、総長の式辞があり、午後3時5分に終了した。

各学位授与者数の人数と内訳は以下のとおりである。

修士

学位名	学位授与者数
修士(文学)	110
修士(教育学)	38
修士(法学)	15
修士(経済学)	55
修士(理学)	262
修士(医科学)	26
修士(社会健康医学)	0
修士(人間健康科学)	47
修士(薬学)	0
修士(薬科学)	66
修士(工学)	706
修士(農学)	275
修士(人間・環境学)	130
修士(エネルギー科学)	121
修士(地域研究)	24
修士(情報学)	179
修士(生命科学)	76
修士(地球環境学)	39
合 計	2,169

修士(専門職)

学位名	学位授与者数
社会健康医学修士(専門職)	26
公共政策修士(専門職)	41
経営学修士(専門職)	90
合 計	157

法務博士(専門職)

学位名	学位授与者数
法務博士(専門職)	150

博士

学位名	学位授与者数								
	平成25年11月25日付け			平成26年1月23日付け			平成26年3月24日付け		
	課程博士	論文博士	計	課程博士	論文博士	計	課程博士	論文博士	計
博士(文学)	5	1	6	2		2	19	1	20
博士(教育学)	1	1	2				8	3	11
博士(法学)		1	1		2	2	13		13
博士(経済学)					1	1	5		5
博士(理学)	6	1	7	2	1	3	83	2	85
博士(医学)	8	6	14	5	6	11	60	3	63
博士(医科学)	1		1	1		1	6		6
博士(社会健康医学)				1		1	4		4
博士(人間健康科学)	1		1	1		1	10		10
博士(薬学)							17		17
博士(薬科学)							2		2
博士(工学)	7	1	8	4	1	5	89	2	91
博士(農学)	2	3	5	4	2	6	37	4	41
博士(人間・環境学)	1		1				32		32
博士(エネルギー科学)	1		1	1	1	2	9		9
博士(地域研究)							10	1	11
博士(情報学)	2		2	2		2	17	1	18
博士(生命科学)	1		1	1		1	15	1	16
博士(地球環境学)				1		1	6	2	8
合 計	36	14	50	25	14	39	442	20	462

(学務部)